

大使館情報

2021年1月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

【内政】

- (1) 上下両院議長の再選に関する最高裁判所の決定
- (2) 観光大臣の交代
- (3) 政府による「汚職対策計画」の発表
- (4) ボルソナーロ政権の政権支持率
- (5) 義務的なワクチン接種に関する最高裁場所の決定

【外交】

- (1) 伯・パラグアイ首脳会談
- (2) アラウージョ外相のEU・ラテンアメリカ・カリブ諸国外相会合への参加
- (3) ボルソナーロ大統領によるバイデン次期米大統領への祝意表明
- (4) 日伯防衛相・国防相テレビ会談及び防衛協力・交流に関する覚書署名式
- (5) 伯・南ア外相電話会談
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

3. トピック

- (1) オズワルドクルス財団共催ウェビナー（在リオ総）
- (2) オンラインカレンダー展の開催（在リオ総）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢報告（12月発表の経済指標）

- (ア) 伯中央銀行が、週次で発表しているエコノミスト等への調査（フォーカス調査）によれば、昨年12月24日時点で、GDP成長率予測については、2020年は▲4.40%で前週から変わらず、2021年は3.46%で前週（3.49%）から0.03ポイント下落。インフレ率については、2020年は4.39%で前週から変わらず、2021年は3.34%で前週から0.03ポイント下落。
- (イ) 10月の鉱工業生産指数（季節調整済み）は前月比+1.1%となり、6か月連続で前月比増加を記録した。今年5～10月の鉱工業生産は+39.0%と増加し、パンデミック開始前の2月の水準を1.4ポイント上回った。
- (ウ) 10月の小売売上高は、前月比+0.9%と6か月連続の増加を記録し、パンデミック前の2月の小売売上を8.0ポイント上回った。
- (エ) 11月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.89%、11月の指数としては2015年以来最も高い上昇を記録した（前年同期比+4.31%）。2020年5月以降、食品価格の高騰を背景に消費者物価の上昇が続いている。
- (オ) 10月の全国の失業率（8月～10月の移動平均）は14.3%となり、7月～9月の移動平均の14.6%から0.3ポイント下落した。雇用者数は8,430万人で前四半期に比べ2.8%増加した。
- (カ) 経済省の発表によると、12月のブラジルの貿易収支は、前年同月比▲100.7%の4,160万ドルを記録、本年1～12月の貿易収支は、前年同期比+7.0%の509億9,460万ドルとなった。

(2) 経済政策等

- (ア) 12月3日、地理統計院（IBGE）は、第3四半期のGDP成長率を発表し、第2四半期（-9.6%）から急回復して+7.7%となり過去最高の伸びを記録した（前年同期比-3.9%）。部門別では、工業・サービス業が前期比大幅に上昇し、需要項目別では家計消費・固定資本形成が緊急援助の影響により増加した。
- (イ) 同17日、伯中銀は、四半期インフレ報告書を公表し、本年GDP成長率について-4.4%と前回（9月）-5.0%から上方修正した。2021年については3.8%と若干（-0.1%）下方修正された。
- (ウ) 同29日、地理統計院（IBGE）は、8～10月（3ヶ月平均）の失業率を発表、14.3%と前月比0.3ポイント下落した。依然として高水準の失業率だが半年ぶりに前月比下落し、雇用者数も増加に転じた。
- (エ) 2021年に予定されている伯中央銀行のオープンバンキングシステムの開

始により、金融機関によるデータ・商品及びサービスの共有が可能となり、サービスがより迅速かつ充実することが期待されている。本システムは、クレジット・保険・投資サービスその他の幅広い商品に適用される見通し（エスタード紙・10日付）

（オ）4月から開始された緊急給付金の支給が12月で終了。累計で7,000万人が受理したと推計される。

（3）金融政策

12月9日、ブラジル中央銀行の金融政策委員会は、政策金利（Selic）を年率2.00%に据え置くことを全会一致で決定した。政策金利の据え置きは3会合連続、声明文においてフォワード・ガイダンスの撤廃を示唆した。次回会合は1月27日及び28日に開催される予定。

（4）為替市場

12月の為替レートは、5.03～5.25 レアル／ドル台で推移。同月の前半は、米国の追加経済対策の合意期待と、欧米における新型コロナウイルスのワクチン接種開始の報道、伯中銀による年末のドル売りにより、レアル高となり一時5.01レアル／ドルまで上昇した。同月の後半から、伯議会における来年度予算を巡る財政悪化懸念、2020年末に向けて伯国内での感染拡大の懸念等から5.25レアル／ドルまでレアル安が進行した。

（5）株式市場

12月のブラジルの株式相場（Ibovespa）は、111,814～119,086ポイントで推移。欧米において新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されたこと、米国で9,000億ドル規模の経済対策案が公表されたことを受けて、終始110,000ポイントを上回る高値圏で推移した。月後半に、英国の再ロックダウンにより下落する場面があったが、緊急援助金の年内終了に伴う財政懸念の後退によって月末には11か月ぶりに年初来高値を更新、終値では史上初の119,000ポイント台に到達した。

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

（1）上下両院議長の再選に関する最高裁判所の決定

12月6日、最高裁判所は、上下両院議長の連続再選は憲法により禁止されている旨決定。このことにより、アルコルンブレ上院議長とマイア下院議長は明年2月の議長選挙には出馬できなくなった。

(2) 観光大臣の交代

9日、観光大臣がマルセロ・アルヴァロ・アントニオ氏からジルソン・マシヤド氏（伯観光公社総裁）に交代する旨、官報に掲載された。

(3) 政府による汚職対策計画の発表

9日、政府は2020～2025年の短・中期的な行動計画を掲げた「汚職対策計画」を発表した。この計画は、汚職の防止、発見及び汚職に関与した者に対する責任追及のメカニズムを洗練させる措置を伴い、汚職対策に関する法律の遵守及び改善を促進することを目的としている。

(4) ボルソナーロ政権の政権支持率

13日に発表されたダッタ・フォーリャ社による世論調査では、政権支持率は、前回の同社による調査（8月）と同数値の37%（同社の調査では、ボルソナーロ政権発足以来最高値）を維持した。

(5) 義務的なワクチン接種に関する最高裁場所の決定

16～17日、最高裁判所にて、Covid-19ワクチン接種の義務性に関する審理が行われた。その結果、Covid-19ワクチンの義務的な摂取が合憲であり、接種を拒否する者には一定の制限（罰金等）を課すことが可能であることが確認された。一方、接種を強制することは不可能であると認められた。

【外交】

(1) 伯・パラグアイ首脳会談

12月1日、ボルソナーロ大統領は、パラナ州フォス・ド・イグアス市において、ベニテス・パラグアイ大統領と首脳会談を行った。同会談において、ボルソナーロ大統領は、「伯、パラグアイ、パラナは完璧な婚姻関係にある。パラグアイは、隣国ではなく、兄弟国である。」と述べた。また、両首脳は、両国を結ぶ第二の橋の建設現場を視察した。

(2) アラウージョ外相のEU・ラテンアメリカ・カリブ諸国外相会合への参加

14日、アラウージョ外相は、EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国外相テレビ会合に参加した。同会合では、パンデミックに対する闘い、デジタル化の形成、持続可能な経済、気候変動との闘い、生物多様性の保全のための協力について議論された。

(3) ボルソナーロ大統領によるバイデン次期米大統領への祝意表明

15日、ボルソナーロ大統領は、自身のSNSにて、バイデン次期米大統領へ祝意を表明する公式メッセージを出した。メッセージの中で、ボルソナーロ大統領は伯米同盟関係を構築し続ける用意ができている旨述べた。

(4) 日伯防衛相・国防相テレビ会談及び防衛協力・交流に関する覚書署名式

15日、岸防衛大臣とアゼヴェード国防大臣の間で日伯防衛相・国防相テレビ会談及び防衛協力・交流に関する覚書の署名式（オンライン形式）が行われた。会談では、PKO分野における協力や新型コロナウイルス対処における協力等につき意見交換がなされた。その後、防衛協力に関する覚書が署名され、日伯の防衛関係者が緊密なコミュニケーションを維持するとともに、人道支援や災害対処の分野で引き続き日伯が防衛協力及び交流を推進していくことが確認された。

在ブラジル日本国大使館ニュース

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00284.html

(5) 伯・南ア外相電話会談

18日、アラウージョ外務大臣は、ナレディ・パンドール南アフリカ共和国・国際関係・協力大臣と電話会談を行った。両外相は、ポストパンデミックの経済回復、貿易、防衛、農業、環境について意見交換を行った。

3. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

- (1) 11日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置につき、7日間延長する旨の政令第615号を公布した。
- (2) 17日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国制限する措置に関する政令第630号を公布した。これにより、入国制限措置の期間に関する記述が削除されたほか、12月30日以降、渡伯便搭乗の際の陰性証明書及び旅行者健康状態申告書の提示義務が設けられた。
- (3) 23日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置に関する政令第648号を公布した。これにより、渡伯便搭乗の際の新型コロナウイルス感染症陰性証明書の詳細や英国からの便に関する制限が追加された。

4. トピック

(1) オズワルドクルス財団共催ウェビナー（在リオデジャネイロ総）

12月8日（火）にリオデジャネイロ総領事館とオズワルドクルス財団の共催

で、「日伯の新型コロナウイルスへの対応について」と題としたウェブセミナーを実施した。日本側スピーカーとして Meng Ling Moi 長崎大学准教授、オズワルドクルス財団から Marco Aurelio Krieger 副理事長が、同財団がコロナ禍の中で果たしている役割について講演を行った。（ウェブセミナーの視聴は[こちら](#)）

SEMINÁRIOS AVANÇADOS EM SAÚDE GLOBAL E DIPLOMACIA DA SAÚDE "JOSÉ ROBERTO FERREIRA"

SEMINÁRIO EXTRA
O CENTRO DE RELAÇÕES INTERNACIONAIS EM SAÚDE (CRIS) DA FIOCRUZ E O CONSULADO DO JAPÃO NO RIO DE JANEIRO APRESENTAM E CONVIDAM PARA O SEMINÁRIO.

Japão e Brasil no combate à COVID-19

Estratégias de enfrentamento da pandemia e desenvolvimento de tecnologias para vacinas

8 DE DEZEMBRO
9H ÀS 10H

PALESTRANTES:

- MENG LING MOI**
PRFCA DO DEPT. DE VIROLOGIA DO INSTITUTO DE MEDICINA TROPICAL, UNIVERSIDADE DE NAGASAKI. MEMBRO DO PAINEL DE ESPECIALISTAS NA REDE GLOBAL DE LABORATÓRIOS COVID-19 DA OMS. NO GRUPO DE TRABALHO SOBRE REINFECÇÃO DA COVID-19.
- MARCO KRIEGER**
VICE-PRESIDENTE DE PRODUÇÃO E INOVAÇÃO EM SAÚDE DA FIOCRUZ. PESQUISADOR TITULAR DA FUNDAÇÃO OSWALDO CRUZ NA ÁREA DE GENÉTICA EM PARASITOLOGIA MOLECULAR PARA O DESENVOLVIMENTO DE TESTES DE DIAGNÓSTICO.

MODERADOR

- LUIZ EDUARDO FONSECA**
COORDENADOR ADJUNTO DO CENTRO DE RELAÇÕES INTERNACIONAIS DA FIOCRUZ.

TRADIÇÃO SIMULTÂNEA

Ministério da Saúde
FIOCRUZ
Fundação Oswaldo Cruz
Presidência
Centro de Relações Internacionais em Saúde - CRIS

（２）オンラインカレンダー展の開催（在リオデジャネイロ総）

12月1日（火）から1月31日（日）まで、当館ホームページにてオンラインカレンダー展を開催している。全国カレンダー出版協同組合連合会から寄贈された2021年版の可憐一ダ―51点を展示しており、日本の四季折々の風景、建築、着物、絵画、ペット等を題材にした様々なカレンダーをオンラインで楽しむことができる。

（HP：

https://www.rio.br.emb-japan.go.jp/itpr_pt/CalendarExpo_00001.html）





5. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) ブラジル日本文化福祉協会オンライン新年会（在ブラジル大使館）

日時：1月8日（金）19時～

サイト：<https://www.youtube.com/user/tvbunkyo>

内容：山田駐ブラジル日本国大使のビデオメッセージが流れる予定。

(イ) 在ブラジル大使館主催オンライン新年会（在ブラジル大使館）

日時：1月15日（金）19時～

場所：Teams 配信（予定）

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を掲載している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

ブラジルにおいては、年始から2月のカーニバル期間（本年は2月13・14日の週末から17日の「灰の日」までの期間）までは、コロナ禍においても人の移動も増える事が予想されるので、防犯意識を高めることが重要である。

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏

- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先を掲載している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html